



▼創造学園卒業式(3/12)  
2年間の皆勤賞。  
おめでとうございます。



▲食べてもおいしいコンサの  
ひみつ!(2/23)  
サッカー選手の食事に舌鼓。



▲健康フェスタ(2/29)  
「こころ転ばん体操」で転倒防止!



●まちのお台所とよひら  
▲月寒公民館(3/10)  
どんな料理ができるのかな。  
ワクワク♪



◀留学生と一緒に母国料理を  
堪能しましょう(2/21)  
4カ国のお料理教室。  
異国の味に興味津々。

中の島会館(3/10)▶  
なんでも食べて  
大きくなるぞー。



▲エンジョイ・マタニティ  
クッキング(2/29)  
新米ママさん大奮闘!!



### 第44回 「札幌市豊平老人福祉センター・札幌市中の島児童会館」の巻 ～二十歳を迎えた世代間交流の場～

今年で開設二十周年を迎えた豊平老人福祉センターと中の島児童会館は、区内の高齢者の健康増進と、地域の子どもの健全育成のための複合施設として、昭和六十三年四月、中の島二条三丁目に誕生しました。

この施設がある中の島地区は、昭和四十六年の地下鉄北二十四条駅と真駒内駅の開業、同年の南十九条大橋の開通により、地下鉄「中の島駅」を中心に街並みが大きく様変わりします。また、そのころには地域内の下水道普及率は、ほぼ百パーセントとなり、昭和五十年を過ぎると主要道路のほとんどが舗装されるなどインフラの整備も進みます。それに合わせるように、近代的なマンションが立ち並び、人口も著しく増加しますが、ほかの地区に比べて文教・福祉施設が少なく、地域の中学校は平岸中学校の1校のみ。昭和六十年ごろには、生徒数は千四百人を超え、学級数も三十余りのマンモス校となり、地域から、中学校新設の強い要望が出されます。

そのような中、昭和六十二年三月、北海道さけ・ますふ化場跡地の一部に中の島中学



大勢の地域住民が参加した、当時の落成式。

校が開校。残りの約五千平方メートルの跡地の有効活用として、翌年建てられたのが老人福祉センターと児童会館です。

この二つの施設は、複合施設であるという特色を生かし、開設当初から「ふれあい遠足」や「夏まつり」など世代間交流ができる合同行事を年数回行っており、現在、施設利用者は一日約二百四十人。高齢者や子どもたちが訪れる憩いの場となっています。

二十周年という節目の年を迎えた今年、施設の愛称を募集したところ、百件を超える応募がありました。このようなところにも、施設に対する利用者の親しみの深さを感じられます。愛称は、四月十八日に行われる二十周年記念イベントで発表される予定です。

世代間交流ができる場にふさわしい愛称が付き、今後末永く憩いの場として親しまれていくことでしょう。